

夏季休暇期間中における 防疫対策の徹底をお願いします！

本年2月にシンガポールで初めてアフリカ豚熱の発生が確認され、5月にワクチン接種国である韓国で4年ぶり口蹄疫が確認されました。

アジア・ヨーロッパ各地で家畜の伝染病の発生が続いており、日本への侵入リスクは依然として高い状況です。

国内ではワクチン接種農場でも豚熱の発生が確認されており、飼養衛生管理の徹底が不可欠となっています。

昨年10月の入国制限撤廃以降、訪日外客数は回復し、日本人観光客も多く渡航することが想定され、人や物の移動が増加し、病原体の侵入が危惧されますので、防疫対策の見直しをお願いします。

～防疫対策の主なポイント～

1 発生国への渡航自粛の徹底

- ・母国を含む海外からの携帯品、国際郵便物等によって肉製品等が持ち込まれることのないよう従業員等に周知

2 消毒、衛生管理区域への病原体の侵入防止の再徹底

- ・従業員・関係者の皆さんで飼養衛生管理の遵守
- ・関係者以外の立入制限、不要物の持込禁止
- ・専用の衣服・手袋・長靴の着用、手指・物品の消毒
- ・有機物の存在を前提に、消毒前に汚れを落とし、適切な濃度の消毒薬を使用
 - ※消毒槽は最低1日1回交換
- ・衣服や機材が再汚染しないよう、交換や消毒の前後で交差しないよう動線を確認
- ・野生動物の侵入防止対策
 - ※防護柵、防鳥ネットの設置と点検・修繕
 - ※畜舎の破損等の点検・修繕

3 毎日の健康観察、早期発見及び早期通報の徹底

- ・緊急時の連絡先の確認
- ・アフリカ豚熱、口蹄疫、豚熱等の特定症状など異状があれば直ちに家畜保健衛生所へ連絡をお願いします。

東濃家畜保健衛生所

TEL:0573-26-1111(内395) FAX:0573-25-7669